
青森のみちの将来像

概 要 版

平成 15年 3月

- 目 次 -

	ページ
1.青森県の現状と課題	1
2.青森県のみちの現状と課題	3
3.県民からの道路に対する声	5
4.青森のみちのあり方について - 青森の道づくり懇談会」からの提言 -	7
5.青森の将来のみちのあり方	9
6.青森のみちの将来像	11
6 - 1 交流促進と連携強化を支援するあおもりの道づくり	11
6 - 2 安全で安心な暮らしを守るあおもりの道づくり	13
6 - 3 雪国あおもりの暮らしを支える道づくり	14
6 - 4 あおもりの自然と調和し活用する道づくり	15
6 - 5 都市機能の高度化を支援するあおもりの道づくり	16
6 - 6 限られた財源を有効に活用する道づくり	17
6 - 7 県民参加の道づくり	18

はじめに

21世紀は経済の低迷による財政的な制約や、少子・高齢化社会の進展等これまでにはない厳しいスタートとなりました。

このような中で地域の活力や自立を図るためにも、道路を始めとする社会資本整備が重要になります。

一部には、地方の道路整備はもう必要が無いなどの意見が出されておりますが、自動車交通への依存度の高い本県においては量的にも質的にも不十分であり、道路整備はまだまだ必要と考えております。ただし、限りある財源を有効に活用し、本県にとって必要な道路を効率的に整備することが求められています。

このため、今後の青森の道路のあり方等について「青森の道づくり懇談会」（座長 青森大学経営学部長 井上隆氏）を設置し、委員の方から様々な御提言を頂きました。

またアンケート調査などを実施し、これらを踏まえ『青森のみちの将来像』を策定しました。